

6 本時のねらい
西日本豪雨で被災した人の思いを記した資料を題材に、「望まぬ状況に置かれたとき、どう生きていくのか」ということを、これまで学習した「握手」「蟬の声」で学んだことも踏まえて話し合うことを通して、「故郷」の主題としてとらえた「どんな状況でも諦めず、社会状況を変えるために仲間と協力して動いていくべきだ」という「私」の考え方に對する自分の意見をもつことができる。

(C)「読むこと」E 考えの形成・共有

7 本時の展開

<p>教師の働きかけ</p>	<p>子どもの学習活動</p>	<p>評価規準・手立て</p>
<p>・「故郷」を通して、「苦しい状況に身を置いたとき、その中でどう生きていけばよいか。」という点について考えてきました。今日は、そのことをもとに、これまで学んだ「握手」や「蟬の声」ともつながら考えを広げていきましょう。</p> <p>①自分の立場を明らかにして意見を述べよう。</p> <p>②自分の考えの根拠として、本文中のどの文のどの考えなのかを明らかにしよう。</p> <p>③「故郷」から学んだことに對して、社会や生き方を結び付けて考えよう。</p> <p>・考えたことを発表しましょう。</p> <p>・「社会を変えていく」という生き方が大事だと考えるのですね。</p> <p>・「個」が大事だと考えるのですね。</p> <p>↓「蟬の声」の祖父の生き方とつなげて考えるのですね。</p> <p>・「人とのつながり」こそ大切だと考えたのですね。</p> <p>↓「握手」のルロイ修道士の生き方とつなげて考えているのですね。</p> <p>・（随時、個々の「見方・考え方」を明らかにし、それぞれの考え方を比較し合う。）</p> <p>・話題を焦点化して、考えを深める。</p>	<p>○前時までの学習を振り返り、「苦しい状況の中で人はどう生きていくのか」という点についての『「私」の考え方』を確かめる。</p> <p>・「蟬の声」の祖父のように、まずは自分がしつかり生きることが大切。</p> <p>・「握手」のルロイ修道士のように、自分よりも周りの人間を大切に生きていくことが大切。</p> <p>○「故郷」で学んだように、社会を変えようとする考えをもつて生きることを大切。</p> <p>○単元導入時に話題とした、「西日本豪雨の被災者方の生活・状況」についての資料を見る。</p> <p>・豪雨によって、それまでの生活が一瞬にして壊され、その職も失われた。</p> <p>・復興事業も自分たちの望んでいるような国の支援は受けられず、思うように進まない。</p> <p>○課題設定</p> <p>望まぬ状況に置かれたとき、その中でどう生きていけばよいのだろうか。</p> <p>○課題に對する自分の考えを書く。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>【社会を変えようとする生き方】</p> <p>・「故郷」でも、「もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば…」とあり、社会を変えていく努力を一人一人がしているべきだと言っていた。復興事業の遅れに對して声をあげていくことが大切だ。</p> <p>・社会を変えることは確かに難しい。だからと言って受け入れてしまつては、ルントウのようになつてしまう。ハンセン病の問題のように、小さな声でも上げ続けているれば、社会は変わる。</p> <p>・同じような失敗を起ささないためにも、社会に訴え続けるべきだ。</p> <p>【人とのつながりを大切にする生き方】</p> <p>・「握手」のルロイ修道士のように、どんな状況であっても、自分より仲間を優先して考えて行動することが大切だ。</p> <p>・ヤンおばさんのように、自分のことしか考えていない人ばかりだと、絶対に苦しい状況は乗り越えられない。</p> <p>・社会を変えることは大切だが、テーマが大き過ぎて一歩が踏み出せない。まずは、どんな状況でも周りの人のことを思つて行動することが、結果的に社会を変えることにもつながると思う。</p> <p>【個を大切にする生き方】</p> <p>・「蟬の声」の祖父のように、仲間を亡くしたり、辛い思いをしたりしても、自分の意志を強く持つて生きることが大切だ。あまり人に頼らず、一人でも生きていく強さこそ必要だ。</p> <p>・自暴自棄になつてルントウやヤンおばさんのようにならず、一歩一歩目の前にあるものを乗り越えていくことが大切だ。</p> <p>・社会を変えようとすつてもそんな簡単じゃない。その間も生活が続くのだから、まずは自分自身をしっかりとつめて、強く生きていくことが大切だ。</p> <p>○学習のまとめを書く。</p> <p>「故郷」で主人公が「もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば…」と言つていたように、自分が置かれている状況に不満をもつたり、それで投げやりになつてしまつたりしては意味がないと思う。だから、自分が住みよい理想な社会をつくるために自分から働きかけて動いていかなければいけないと思う。だから、Aさんが言つたように、社会を変える前に、まずは自分のことをしつかりできるようにすることが大事。またBさんの言つたように、自分よりも周りの人を大切にする考え方もつことが大事。そして、その延長に「社会を変える」という考え方もつことで、苦しい状況を生き抜いたり、西日本豪雨の経験をプラスに変えられたりするのだと思う。</p>	<p>・単元のはじめに、「苦しい状況に身を置いたとき、その中でどう生きていけばよいか」をの答えを出すことを目的として、そのために「故郷」を読み深めていったことを想起させ、学習の目的を明確にする。</p> <p>・「故郷」の主題として読み取つた、「どんな状況でも諦めず、社会状況を変えるために仲間と協力して動いていくべきだ」という点について、考え方を確かめ、それをふまえて課題について考えていくという意識を確かにする。</p> <p>・これまでに学んだ「蟬の声」と「握手」の考えをもつながら考えを深める。</p> <p>・机間指導：前時までの学習やこれまで学んだ単元、社会問題とつなげて考えがもてるように指導する。</p> <p>◆評価規準 課題に對しての自分なりの答えが書かれており、どのような考えを経て、その思考に至つたかの経緯が書かれていて、発言</p> <p>◆手立て これまでの学習を想起させ、「故郷」で学んだことのキーワードを提示し、意見をもたせよう。仲間間の意見を聞いてどう思つたかを考えさせる。</p> <p>・「故郷」や「蟬の声」、「握手」を基に考え、自分の考えをさらに広げ、深められた考え方、生き方について書きまとめられるよう助言する。</p>